



### **Profile**

会社概要



会社名 株式会社マウント

所在地 (本社)

〒190-0034 東京都立川市西砂町2-51-10-2F TEL 042-569-6960 FAX 042-569-6961

(横浜営業所)

〒240-0031 神奈川県横浜市保土ヶ谷区藤塚町 10-34

創立年月日 平成19年3月19日

役員氏名 代表取締役 仲 隆宏

取締役明石 尚也取締役北上 大介

建設業の許可 東京都知事 許可(特-3)第140755号

建築工事業 防水工事業 塗装工事業 左官工事業 石工事業 鉄筋工事業 タイル・レンガ・ブロック工事業 大工工事業 とび・土工工事業 屋根工事業 板金工事業 ガラス工事業 構造物工事業 建具工事業 内装工事業 解体工事業

事業内容 大規模修繕工事(調査診断・施工)

環境ビジネス

ライセンス工事一覧 エバーガード工法 ピンネット工法 アクアバインド工法

Uガード工法 その他

資本金 5,000万円

売上高 1,070,360,738円(令和2年度)

主な取引先株式会社東急コミュニティー株式会社ディー・アール・シー

ホームライフ管理株式会社 株式会社レーベンコミュニティ

株式会社富士防 建装工業株式会社 株式会社アイピー 21 川田工業株式会社 ヤマギシリフォーム工業株式会社 株式会社小林塗装

その他

主な仕入れ先 化研マテリアル株式会社 株式会社ダイフレックス

野口興産株式会社 城北化研株式会社 株式会社K・Cアスカ 荻野化成株式会社

森商事株式会社 株式会社テックコーポレーション

加盟団体一覧 一般社団法人マンション計画修繕施工協会 (MKS)

関東防水管理事業協同組合ハイブリットルーフ研究会コニシベステム工業会一般社団法人機能性外壁工業会SDGs ジャパンダイフレックス防水工事業協同組合

取引金融機関 多摩信用金庫 きらぼし銀行

従業員数 28名





# History

会社沿革

2004年 マウントテクノとして創業2007年 法人化株式会社マウント設立

2008年 一般建設業許可取得 事務所移転

2009年 資本金1,000万に増資

2013年 事務所移転・ダイフレックス防水工事協同組合加入

2016年 一般社団法人機能性外壁工業会加入

2017年資本金3,000万に増資2018年現在の事務所に移転

2019年 横浜営業所開設・関東防水管理事業協同組合加入

2021年 特定建設業許可取得・一般社団法人マンション計画修繕施工協会 (MKS)加入

2022年 資本金5,000万に増資

# License

有資格者一覧

一級建築施工管理技士:4名 二級建築施工管理技士:4名 監理技術者:3名

一級防水施工技能士(ウレタンゴム系塗膜防水工事作業):5名

一級防水施工技能士(塩化ビニル系シート防水工事作業):1名

一級防水施工技能士(改質アスファルトシートトーチ工法防水工事作業):1名

職長等安全衛生教育終了者:15名 有機溶剤業務従事者講習終了者:13名

特定化学物質・四アルキル鉛等作業主任者技能講習修了者: 10名 ゴンドラ特別教育終了者: 14名 玉掛け技能講習終了者: 3名

石綿含有建材調査者:1名

石綿作業主任者技能講習終了者:12名 車輌系建設機械(整地等)運転:1名

小型移動式クレーン運転:1名 高所作業車運転:5名 フルハーネス型安全帯使用特別教育修了者:21名 職業訓練指導員免許:1名 宅地建物取引士:1名

エバーガードSGライセンス取得者:6名

ネットガードU・エフネットライセンス取得者:2名

カーボンピンネット工法技術者:1名 ハルeコート複合防水受講修了者:1名

マンション改修防水技能士(アスファルト):1名マンション改修防水技能士(ウレタン):1名





## Insurance

加入保険

#### 損害賠償責任保険

#### 請負賠償責任保険

建設工事の遂行による 対人・対物事故により 第三者へ与えた損害

対人:1事故につき3億円限度 対物:1事故につき3億円限度

#### \_\_\_\_\_\_ 事 故 例

- ●塗装工事を行っていたところ突風で 塗料が飛散し、近隣の自動車などを 汚損させた
- ●足場材などを落下させてしまい通行 人に怪我をさせた



#### 生産物賠償責任保険

引き渡した工事の結果による 対人・対物事故により 第三者へ与えた損害

対人:1事故につき3億円限度 対物:1事故につき3億円限度

#### 事故例

●防水工事を施工不良による階下へ漏 水させた



弊社が加入している損害賠償責任保険には、大規模工事にて加入要請のある建設工事保険、組立工事保険に該当する特 約を付保しています。

### 業務災害総合保険

法定の労働災害補償制度(労災保険)に上乗せして、労災補償を手厚くするため、 経営審査事項の加点条件を満たした法定外労働災害補償制度に加入しています。

#### 加入条件

- ①業務災害および通勤災害 (出退勤とも) のいずれも対象としてること
- ②直接の雇用関係にある職員および下請負人(数次の請負による場合にあっては下請負人のすべて)の直接の使用関係にある職員のすべてを対象としていること
- ③死亡および労働障害等級1級から7級までのすべての身体障害を対象としていること
- ④すべての工事(共同企業体および海外工事は除く)を補 償対象としていること









## Construction

事業内容 大規模修繕工事/改修工事

どれほど劣化が少なく見える建物でも、油断はできません。時間がたてば建物は確実に劣化や 損傷が進行します。一般的にマンションの躯体であるコンクリートは、新築時には強アルカリ 性の為、その作用でコンクリートの骨組みである鉄筋を錆から守ります。またコンクリートも 長い年月とともに空気中の二酸化炭素によってゆっくりと中性化が進行します。 中性化が進 むと、鉄筋は錆つき、更には膨張し、コンクリートを押上げて鉄筋がコンクリートを突き破っ て露出します。劣化の進行が少ないうちに補修を行うことで、住宅機能やマンションの資産価 値の低下を最小限に抑える他、長期的な修繕計画も大幅なコストダウンにつながります。

私たちマウントの大規模修繕工事は、お客様の建物の現状を正確に診断し、劣化を未然に防ぐ ための修繕計画をご提案いたします。

経験豊かな専門スタッフがお客様の大切な財産である建物を守ります。





ホームページ

#### 現状調査・診断

建物における現状の状態を診断し、躯体の状態から 仕上げに至るまで、 専門的な知識を有する 技術者が調査・ 診断します。

#### 検討・提案

診断の結果を元にお客様と綿密に打合せを行い、 工法・金額・工期など あらゆる角度から 最適なプランを 提案します。

#### アフターケア

工事完了引き渡し後、 定期的な点検を行い 保証期間中は 無償で補修いたします。

#### 施工・検査

工程ごとに徹底した 検査体制・施工管理で ミスや事故を防ぎ、 熟練された技術者により、 満足のいく仕上りを 約束します。





### **Eco-business**

事業内容 環境ビジネス

#### 電解水の力を活用した水の事業に取り組んでいます

今迄、洗剤や薬品に頼ってきた除菌や清掃をこの水道水より精製された電解水を使用することで、環境負荷を低減 することができます。また電解水は基本水なので人体にも優しく、環境衛生面においても安心して使って頂けます。 私たちはこの電解水の設備設置・リース事業に取り組んでおり、この技術を様々な分野で活用できないか常に考え 活動しております。

#### 細菌への有効な手段「電解水」。

洗浄力の「アルカリ性電解水」。除菌力の「酸性電解水」。 電解水の二つのチカラが、細菌を除去した真の「清潔」を実現します。

電解水の生成に必要なのは、

#### 「水」と「塩」と「電気」だけ。

電解水の生成に特別な原料は必要ありません。必要なのは「水」と「塩」と「電気」だけ。

水道水に含まれているカルキや ミネラル、チリ、ゴミ等を軟水 器とフィルターを通して徹底的 に除去。この水と塩水を電気分 解することにより、「アルカリ 性電解水」と「酸性電解水」が 生成されます。

マイナス (一) の電極側から洗浄力の高い約 pH10.5 以上のアルカリ性電解水と、プラス (十) の電極側か ら除菌力の高い約 pH3.0~5.0 (有効塩素濃度 20~60mg/kg) の酸性電解水が生成されます。





除菌電解水給水器

除菌電解水給水器シリーズ

原液の希釈が必要。使いやすい電解水給水器

手をかざすだけで除菌に使える 酸性電解水を生成する除菌電解水給水器です。



ファインファインバブル発生装置

ファインアクア

ナノメートルの気泡が生み出す可能性

ファインアクアは、非常に微細な気泡[ファインパブル]を液中で発生させる装置です。通常の気泡は発生後すぐに水面へ浮上し外部に放出されてしまいますが、[ファインパブル]は浮力の影響を極めて受けにくく、水中に長期間溶存することができます。これにより、例えば溶存酸素量が非常に高い溶液などを作ることができ、生物活性作用など様々な可能性が生み出され、多分野における新たなニーズの開拓が期待できます。

#### 商品一覧はこちら

株式会社テックコーポレーション www.techcorporation.co.jp



### 廃棄物処理による二酸化炭素排出量削減

大気汚染防止のため有機物減溶セラミック製造装置ERCMの販売・リース事業に取り組んでいます。この有機物減 溶再生セラミック製造装置は通常の焼却処分と違ってごみを燃やさずに処分し、処分されたごみはセラミックとな り排出されます。この排出されたセラミックは様々な製品に再利用することができます。

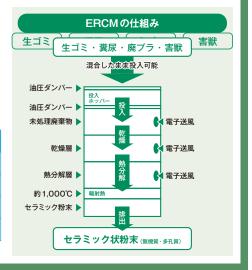


20㎡/日の適用プラント (名古屋市 食品加工企業)

#### ▼ 排ガス測定データ (酸素濃度 12% 換算)

| 項目                  | 測定値  | 基準値  |
|---------------------|------|------|
| 窒素酸化物 (ppm)         | 8    | 250  |
| 塩化水素 (mg/N m)       | 120  | 700  |
| ばいじん (g/N㎡)         | 0.03 | 0.15 |
| ダイオキシン類 (ng-TEQ/ m) | 1.3  | 5    |

※熊本大学地域共同ラボラトリー 一般廃棄物処理測定データ



私たち2つの目標を達成するために積極的に取り組んでいます。は水事業や有機物減容セラミック製造装置の販売・リース事業を通じてSDGsの掲げる目標を達成したいと考えております。